



経営改革の新書

二本松ゆかり
宇田氏が出版

国会東京電力福島原子力発電所発電所事故調査委員会（国会事故調）の調査統括を務めたビジネス・ブレイクスルー大学経営学部長・教授の宇田左近氏（59）は22日までに、自己のこれ

までの活動経歴に基づき、組織経営改革のためのビジネスパーソンへのメッセージとして最新著「なぜ、『異論』の出ない組織は間違っているのか」（PHP研究所、税別1500円、写真）を出版した。

宇田氏は、東大大学院修了後、米シカゴ大学経営大学院でMBAを取得。日本鋼管などを経て、郵政民営化有識者会議委員、日本郵便専務執行役員を歴任し

た。

旧二本松藩丹羽家の御用掛、藩校教官等を務めた宇田家の末裔（まつえい）で、日本で初めて俳句で博士号を取得した宇田零雨は大叔父にあたる。

二本松市にゆかりが深く、また、二本松市出身の歴史学者朝河貫一博士を顕彰するため、本書の著作権料は、二本松市の若者の国際交流のために寄付される。

2014年5月23日（金）

福島民友新聞 11面掲載